

平成 28 年度
学校関係者評価報告書 最終評価

大阪市立大桐中学校 学校協議会

1 総括についての評価（最終）

【学力の向上について】

全国・全市規模で実施される学力テストで大阪市平均点レベルの獲得を目指したが、本年度も『全国学力・学習状況調査』『大阪市統一テスト』（3 年対象）『チャレンジテスト』（1・2 年対象）では、いずれも大阪市（府）平均に及ばず、目標に達しなかった。

しかしながら、昨年度と比べ全体的に見ればその差は縮小し、取り組みの成果が現れつつあり、おおよそその目標は達成したと思われる。

【道徳心・社会性の育成】

各種のアンケートや実態調査から、学校に対する満足度は高く、様々な行事を通じて積極的に生徒同士が相互に助け合う集団の育成を推進している点については、概ね目標通りに達成することができたと思われる。

さらに、「学校に行くのが楽しい」と考える生徒の割合も安定して増加傾向にあり、互いを思いやる気持ちや団結力を育むことができたと評価できる。

【健康・体力の保持増進】

『体力・運動能力、運動習慣等調査』の分析途中であるが、全国平均との差は縮小しておらず、今後も小中の連携を深め継続的な指導を図る必要がある。部活動は盛んで、入部率も高く、熱心に活動している点は評価できる。

また、家庭との連携を深めながら、健康・学習の両面から基本的な生活習慣の充実に重点を置いた指導が重要になると思われる。

2 年度目標ごとの評価（最終）

年度目標：学力の向上

学力向上のための新たなシステムづくりを推進中である。成果が見られるまでは時間がかかることも予想されるが、ICTの充実による成果に期待したい。

今後も、組織として教職員間で目標を共有し、基礎学力の定着と家庭学習の充実の両面から、この流れを確実なものにすることを期待する。

年度目標：道徳心・社会性の育成

安全で規律ある雰囲気づくりとキャリア教育の充実をもとに、不登校生徒数の減少を目指したが、明らかな成果はあげられなかった。

継続実施しているキャリア教育の「福祉ふれあい体験」は、職業や進路を見直すきっかけとなったと感じる生徒が多く、地域との連携の点からも、一応の成果をあげている。

年度目標：健康体力の維持増進

以前から部活動は盛んで、運動に接する機会も多く、運動習慣は比較的身につけていると思われるが、結果として現れていない。基本的な生活習慣は家庭における格差が大きく、学力向上の点からも家庭との連携がより一層重要となってくる。

何より「学校に行くのが楽しい」という質問に肯定的に回答する生徒の割合が継続して高いことは評価できる。昨年度から区役所との連携で実施したゲストティチャー事業は、様々な面で効果が現れつつあり、有効的に活用されることを期待する。

年度目標：教職員の資質能力の向上

研究授業を中心に育てあう若手集団の育成をはかり、相互に授業を参観させ、振り返ることで、OJT 事業を推進することができたようである。

次年度以降、校務分掌の再編・合理化を図ることで、様々な課題を解決するきっかけとなるように期待する。

年度目標：学校マネジメントの向上

来年度も Team The Daido をテーマに「人にやさしい学校づくり」を本校の教育活動の軸とし、生徒・保護者のニーズを的確にとらえ、地域の信頼に応えられるような学校マネジメントの向上をすすめる必要がある。

3 今後の学校運営についての委員からの意見

先生方のチームワークがとても良く、生活指導が起こっても学年だけでなくみんなで取り組んでいる。その良い伝統を今後も続けていってほしい。

今年度は小学校の校舎増築にともない、小中連携において運動会やスポーツテスト等で中学校にはたいへんお世話になり感謝していると同時に今後も大事にしていけたらよいと思う。